

津市大門・丸之内地区未来ビジョン策定委員会
未来志向の都市づくり分科会 【第1回】

日 時 令和4年7月19日(火)
午後2時30分から
場 所 津市中央公民館ホール

<事項書>

1 開 会

2 委員長挨拶

3 分科会員自己紹介

4 議 題

- (1) 分科会長・分科会副会長選出
- (2) 分科会長・分科会副会長挨拶
- (3) 分科会の役割及び進め方等について
- (4) 大門・丸之内地区の将来像について

○地区の将来像の検討

○当該地区の課題の掘り下げ・整理

5 その他連絡事項

6 閉 会

津市大門・丸之内地区未来ビジョン策定委員会
経済活性化、地域資源の活用分科会 【第1回】

日 時 令和4年7月20日(水)
午前10時から
場 所 津市中央公民館ホール

<事項書>

1 開 会

2 委員長挨拶

3 分科会員自己紹介

4 議 題

- (1) 分科会長・分科会副会長選出
- (2) 分科会長・分科会副会長挨拶
- (3) 分科会の役割及び進め方等について
- (4) 大門・丸之内地区の将来像について

○地区の将来像の検討

○当該地区の課題の掘り下げ・整理

5 その他連絡事項

6 閉 会

津市大門・丸之内地区未来ビジョン策定委員会
エリアの価値向上分科会 【第1回】

日 時 令和4年7月20日(水)
午後2時から
場 所 津市中央公民館ホール

<事項書>

1 開 会

2 委員長挨拶

3 分科会員自己紹介

4 議 題

- (1) 分科会長・分科会副会長選出
- (2) 分科会長・分科会副会長挨拶
- (3) 分科会の役割及び進め方等について
- (4) 大門・丸之内地区の将来像について

○地区の将来像の検討

○当該地区の課題の掘り下げ・整理

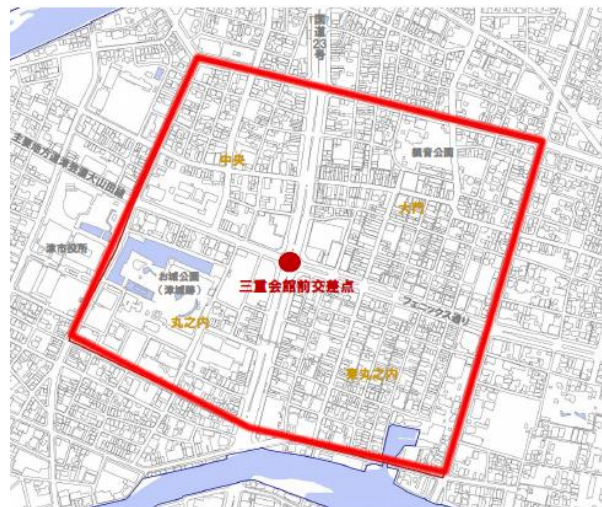
5 その他連絡事項

6 閉 会

分科会の役割及び進め方

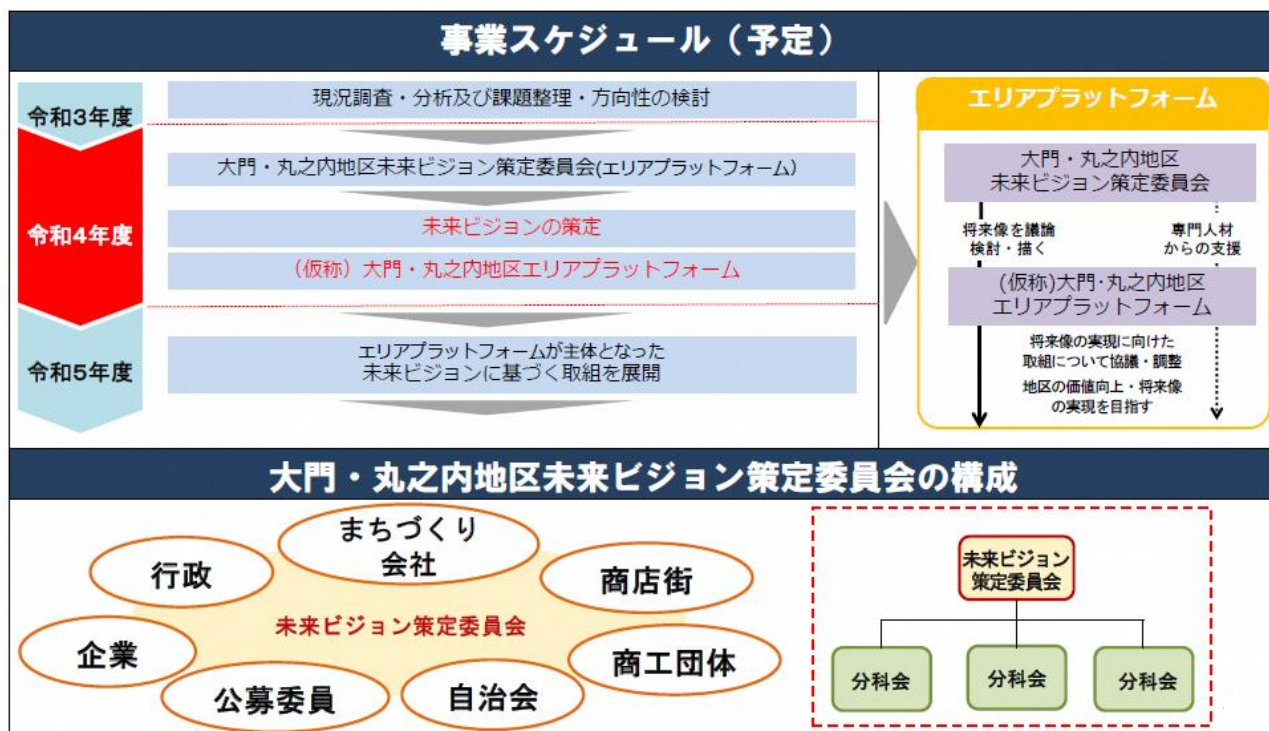
1. 未来ビジョン及び分科会の位置付け

- 津市の中心市街地である大門・丸之内地区（三重会館前交差点を中心に概ね半径 500m、約 58ha）は、津市都市マスタープラン（平成 30 年 3 月策定）で位置付けた、多様で高次な都市機能の集積、県都としての魅力向上のための整備充実に努める方針を具体化することが求められています。



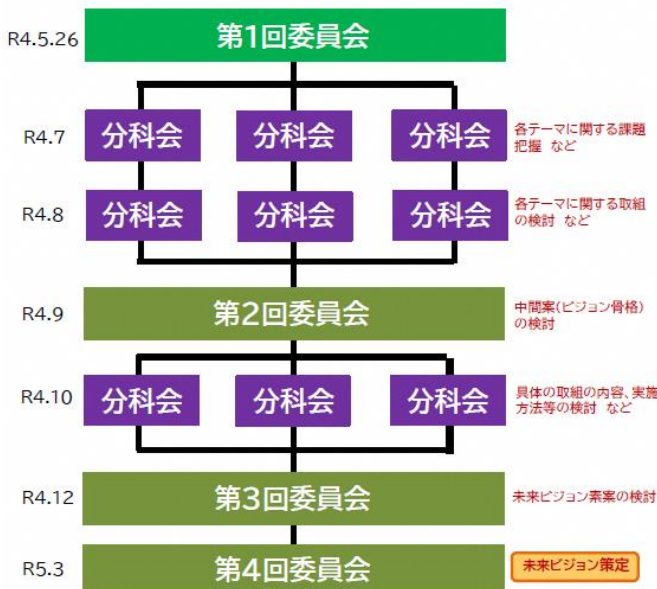
- 津市では、令和 3 年度に「津市都市拠点再生推進施策検討業務」を行い、現況調査・分析及び課題整理などを行いました。

- 今年度、当該地区の「未来ビジョン」を策定するため、令和 4 年 5 月 26 日に第 1 回津市大門・丸之内地区未来ビジョン策定委員会（以下「策定委員会」という。）を開催し、令和 3 年度業務の成果報告、未来ビジョンの策定についての説明、当該地区についての思いを出し合う意見交換を行いました。

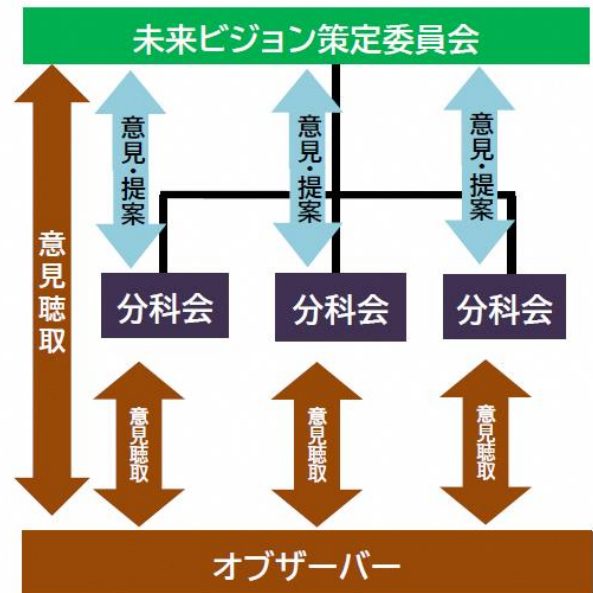


- 分科会は以下の3回開催される予定で、策定委員会委員からの推薦等により選ばれたメンバーにより、各テーマの課題把握、取組の検討・内容、実施方法の検討等についてワークショップ形式で議論し、より実効性の高い未来ビジョン策定につなげることを想定しています。

開催スケジュール(案)



議論のイメージ



- 分科会は以下の3つの観点で設置します。

調査結果から見てきた課題と都市づくりの例

- 人通りが少なく、にぎわいが低下している大門・丸之内地区においては、車道・歩道の再編含め、お城公園、津観音、商店街、津センターパレス、松菱百貨店などを回遊でき、楽しめる魅力的な道路空間を形成することが必要
 - 例 ・車道・歩行空間の道路再編・ネットワーク化
 - ・道路や歩道の美装化や休憩施設の整備、沿道建物の修景整備
 - ・滞在、回遊の起点となる市営駐車場やバス停留周辺の滞在環境の整備
 - ・駐車環境の向上 など
- お城公園、お城前公園、観音公園、津市まん中広場などは日常的な利用は少なく、楽しめる場として環境づくりが必要
 - 例 ・公園・広場等の再生・リニューアルによるさらなる活用
 - ・集客を図るイベント等の企画・開催 など
- 空き家・空き店舗、青空駐車場などの低未利用地が増えているため、これらの資源を有効活用していくことが必要
 - 例 ・土地の集約化、建築物の建替えを積極的促すための仕組みづくり
 - ・空き家・空き店舗のリノベーション等による誘導
 - ・新しい就業者層の獲得のためのシェアオフィス、リモートオフィス等の設置 など
- 集客や回遊などを図っていくには、独自の新たな価値の創造が必要
 - 例 ・「遊ぶ、食べる、寝る」など、新たな価値の創造・発信
 - ・高齢者・若者が便利に暮らせる居住サービスの充実
 - ・ICTやグリーンズローモビリティ等の導入・活用 など
- 大門・丸之内で住む人、商売をする人、働く人、観光する人、遊ぶ人など、大門・丸之内地区に関わりを持ってもらえる人を増やすことが必要。そのためには主体的に関わりを持てる機会や場(関わりしろ)を作ることが必要
 - 例 ・未来のまちを学び、考える場づくり
 - ・集客を図るイベントの企画・開催
 - ・地域資源の磨き上げと情報発信 など

3つの分科会を設置

次の観点を検討テーマに

観点1

にぎわいの創出や商業発展、地域資源の有効活用など、地域の強みを活かす観点

観点2

道路再編やICTの活用、未来の都市を考える場づくりなど、これまでの枠にとらわれない柔軟な観点

観点3

土地・建物の集約化や建築物の建替え・快適な居住空間の創出など、将来的な都市計画の観点

2. 全体スケジュール・概略プログラム

第1回 策定委員会（5/26）

メンバーの選出【策定委員会委員からの推薦 等】
 事前案内 ・ 開催案内（開催趣旨・開催日時・場所 等）
 ・ 第1回策定委員会資料（一部抜粋）

第1回分科会 7/19（火）、20（水）	【第1回の達成目標】 ◇メンバーが未来ビジョン策定の趣旨・分科会の役割を理解する。 ◇地区の将来像を語り合い、基本方針のキーワードを抽出する。 ◇各テーマの課題の抽出・掘り下げを行ったうえで整理する。 1.開会 2.委員長挨拶 3.分科会委員自己紹介 4.議題 (1) 分科会長・分科会副会長選出 (2) 分科会長・分科会副会長挨拶 (3) 分科会の役割及び進め方等について ○未来ビジョンの策定と分科会の位置付け ○分科会ごとの議論の観点（テーマ） (4) 大門・丸之内地区の将来像について ①「地区の将来像の検討」 ○各メンバー描く将来像とその理由を発表し合う。 ○ファシリテーターが理由を掘り下げる中で、課題の抽出につなげる。 ②「当該地区の課題の掘り下げ・整理」 ○議題①の成果や普段の暮らし、経済活動などの経験から、地区が抱える課題（分科会の観点）並びに各テーマの観点について掘り下げを行う（原因や構造を追究）。 5.その他連絡事項 6.閉会（あいさつ）
---------------------------------	---

【各自】先行事例の収集、関係者アイデア収集

第2回分科会 8/25（木）、30（火）	【第2回の達成目標】 ◇課題を解決するための取組アイデアを出し合い、具体的な検討を進める。 ◇第2回委員会への中間報告の内容を固める。 1.開会（あいさつ） 2.前回の振り返り ○市民から寄せられた意見を報告する。 3.議題 「取組アイデア出し・具体化」 ○各自で行った先行事例の収集や関係者からのアイデア収集の結果をもとに、取組アイデアを出し合い、実現に向けた具体的な検討を進める。 4. 第2回委員会への報告内容の調整 ○2回の分科会でのワークショップ成果をもとに、委員会で中間報告する内容を調整する。 5.その他連絡事項 6.閉会（あいさつ）
---------------------------------	---

【各自】取組アイデアの実現に向けた検討

第2回 策定委員会（9月）

第3回分科会 10月	【第3回の達成目標】 ◇各テーマにおける取組の内容検討を進める。 ◇未来ビジョンに掲載する取組のロードマップを作成する。
	1.開会（あいさつ） 2.前回までの振り返り ○第1～2回分科会の成果を振り返る。 ○第2回策定委員会での意見を報告する。 3.議題「事業計画(案)&ロードマップの作成」 ○第2回分科会の成果である取組アイデアから、未来ビジョンに掲載すべきものを絞り込み、役割分担の検討を行った上で、具体的な事業計画(案)を作成する。 ○並行して、絞り込んだ取組アイデアの実施時期を短期・中期・長期に分け、テーマとしてのロードマップを検討する。 4.全体会への報告内容の調整 ○分科会としての成果をとりまとめ、第3回委員会に報告する内容を調整する。 5.事務局説明「未来ビジョンの策定・推進に向けた今後の流れ」 6.閉会

第3回 策定委員会（12月）

第4回 策定委員会（令和5年3月）

津市大門・丸之内地区未来ビジョン策定委員会

第2回分科会に向けた『宿題シート』

※第2回分科会での意見交換に使います。シートに記入し、当日ご持参ください。

【今日】今日の分科会で整理したテーマや課題の中で、関心のある項目を3つ程度メモしてください。

【第2回まで】課題の解決やテーマに貢献する取組アイデアを考えてみてください。

取組アイデアに関して参考になる、他の都市や地区の事例などを探してみてください。

関心のある課題・テーマ	課題の解決やテーマに貢献する取組アイデア	参考となる他の都市や地区の事例など

氏名